



HighLight
今月の注目 2

県内一の生産量を誇る ユズを町特産物に

町ゆず組合(浜谷隆康代表)は11月6日、久保尾区の湯下和充さんのユズ園で初収穫を行った。11月13日には浜松市の社会福祉法人「復泉会」とユズの生産・販売拡大、安定供給に向けた共同宣言に調印した。

本町は県内一ユズ生産量が多く、「ワールドユズ」として世界に発信していきたいと組合関係者は意気込む。

良いものをつくりたいという信念で

秋晴れの下、湯下和充さん(久保尾75歳)のユズ園で堤弘司さん(同75歳)、樽脇美昭さん(同71歳)の3人で初収穫が行われました。湯下さんのユズ園は山林を切り開いて作った山あいの傾斜地。ユズの木には鋭いとげがあり注意しなければなりません。慣れた手つきで次々と丁寧に摘み取っていきます。今年の出来栄を伺うと「香りと酸味は十分」と湯下さんは話してくれました。



◀厚手のグローブでとげに注意しながら
手際よく手摘みで収穫していく

◀収穫前の鈴なりに
実った山根系の
大玉ユズ



◀初収穫に臨んだ
⑥から堤さん、樽
脇さん、湯下さん

ユズ生産販売強化に向け共同宣言

浜松市の社会福祉法人「復泉会」と結んだ共同宣言は、組合が高品質のユズ生産に努め、復泉会に優先的に供給を、復泉会は組合のユズ購入を最優先し、安定的・継続的な取引に取り組むとした内容。8人の組合員と鈴木町長も調印式に立ち会い、組合の浜谷代表は「調印は組合員の悲願であり、お茶だけでなくユズの代表的産地となるように後継者育成に努めたい」とあいさつしました。

◀ユズの安定確保を図る復泉会と生産体制の強化に取り組む組合の狙いが一致



◀とれたてのユズを前に
あいさつする浜谷代表
(手前左から鈴木町長、
浜谷代表、永井理事長)



◀テレビ局のインタビュー
に答える8人の侍



町内有数の紅葉スポット「千葉山智満寺」で川根茶を味わう

HighLight

今月の注目

3

川根茶の魅力を五感で楽しむ「第3回川根時間」を開催

川根茶の魅力を堪能する「第3回川根時間」が、千葉山智満寺(上長尾地区)にて開催された。町内の茶農家が自ら茶を振る舞ったほか、全品受賞茶が飲める茶席も用意され、訪れた多くの来場者は境内の紅葉と川根茶の上質な味わいを楽しんだ。

極みの間



11月23日、千葉山智満寺の境内にて、「第3回川根時間」が開催されました。この催しは、最高のおもてなしによって川根茶の奥深さや幅広さを町内外にPRすることを目的に、町茶業振興協議会の作業部会である「川根茶秋期イベント実行委員会」が主催しました。千葉山智満寺の協力により、寺院境内の紅葉を楽しむながら川根茶を楽しむイベントが企画されました。

10種類以上の町内産の茶から好みのものを選び、茶農家と会話しながら飲める「匠の間」では、参加者はそれぞれの味の違いに驚きつつ、町内菓子店で作られた茶菓子も楽しみながら「茶談義」に花を咲かせました。

第67回全国茶品評会で一等2席に輝いた相藤園の普通煎茶や二等を受賞した釜炒り茶を自分の手で入れて味わえる「極みの間」では、参加者は茶農家や茶業関係者から栽培方法やおいしい飲み方などを熱心に聞きながら、その香りと味を堪能していました。

また、味や香りから品種を当てる「茶歌舞伎」の体験会や、川根産茶箱を正絹の布で彩る「インテリア茶箱」の展示なども行われ、訪れた来場者を楽しませました。

匠の間

